

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業に対する評価（案） （令和 6 年度末時点）

＜地方創生推進タイプ＞

1	がん地域医療次世代モデル構築推進事業	1
2	次世代産業への参入促進による付加価値向上事業	2
3	山形の宝である多彩な環境・文化遺産の活用による持続可能な観光地域づくり 推進事業	3
4	人材・産業・地域のグローバル化推進事業	4
5	地域づくりの新たな担い手となる関係人口創出・拡大プロジェクト	5
6	イノベーション・DXの推進とブランド力の強化による 地域産業の競争力強化事業	6
7	プロフェッショナル人材の活用による中小企業成長実現事業	7
8	山形県移住支援事業・マッチング支援事業・地方就職学生支援事業、 山形県地域課題解決型創業支援事業	8
9	女性・高齢者・障がい者向け新規就業・デジタル就業支援事業	9

＜地方創生拠点整備タイプ＞

1	東北農林専門職大学（仮称）を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備 計画（第 1 次事業）	10
2	東北農林専門職大学（仮称）を活用したスマート農業研究・研修拠点整備計画	11
3	東北農林専門職大学（仮称）を活用したスマート畜産研究・研修拠点整備計画	12
4	東北農林専門職大学（仮称）を活用したスマート森林業研究・研修拠点整備計画	13

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	がん地域医療次世代モデル構築推進事業		
事業計画期間	令和3年度～令和7年度		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出	
事業の概要	国立がん研究センターや慶應先端研と連携してメタボローム解析技術を用いた研究の事業化を推進することにより、次世代地域医療モデルの構築を目指す。また、連携研究拠点の研究内容の周知拡大等の取組みにより、研究成果を活用した新たな産業の創出や、国内外の研究者等高度人材の集積、交流人口の拡大を図る。		
令和6年度 事業費(千円)	96,348	(うち交付金充当額)48,174	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数	目標値 (商品)	－	0	1	2	2	2	5	—
	実績値 (商品)	0	0	1	1	統計値 未発表	－	統計値 未発表	
支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数	目標値 (人)	－	0	2	5	5	5	12	—
	実績値 (人)	0	0	2	3	統計値 未発表	－	統計値 未発表	
次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数	目標値 (件)	－	100	200	300	300	300	900	達成
	実績値 (件)	0	119	221	446	634	－	1,420	
県内医療機関等とのがん治療等に関する連携(共同研究含む)数	目標値 (件)	－	1	1	1	1	1	4	更なる 取組み が必要
	実績値 (件)	0	1	1	1	0	－	3	

3 今後の方針等

次世代地域医療モデルの構築に向け、慶應先端研や国立がん研究センター、県内医療機関等においてオンライン診療システム等の取組みが進行するとともに、研究成果を基にした企業との共同研究が継続して実施されている。引き続き、県内の産業振興、雇用創出の観点から、本拠点の支援事業を継続していく。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	次世代地域医療モデルの構築に向けた共同研究が着実に進捗しており、その成果等の活用により、地域産業の活性化や起業、新規雇用の創出に寄与することが期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	次世代産業への参入促進による付加価値向上事業		
事業計画期間	令和4年度～令和6年度		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出	
事業の概要	今後成長が期待される分野への新規参入支援等による企業の付加価値向上の促進や、本県が先導的に取り組んできた分野における研究シーズの活用による製品・事業の高付加価値化、AI等の先端技術の導入による1人あたりの生産性向上、県外からの企業誘致や若者や女性の就職先の確保による県内経済の活性化等により、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成を目指す。		
令和6年度 事業費(千円)	158,277	(うち交付金充当額) 75,976	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通して新たに成立した 商談の件数	目標値 (件)	-	10	12	17	39	達成
	実績値 (件)	0	30	67	72	169	
本事業を通して自動車・医療・福祉等の成長期待分野に新たに 参入する県内企業数	目標値 (社)	-	3	4	9	16	達成
	実績値 (社)	0	6	6	10	22	
本事業を通して新たにAIを導入 する企業数	目標値 (社)	-	2	4	4	10	達成
	実績値 (社)	0	0	6	4	10	

3 今後の方針等

企業の課題に応じた取引支援や生産改善の支援、アドバイザーの派遣等による、次世代自動車等の成長分野への参入促進の取組みや、製品・事業の高付加価値化、販路開拓、企業誘致、DX人材等の育成に向けた取組みを進めることで、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成を目指していく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	成長分野への参入促進や販路開拓・拡大支援、専門性の高い人材の確保・育成等に取り組むことにより、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成につながることが期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	山形の宝である多彩な環境・文化資産の活用による持続可能な観光地域づくり推進事業		
事業計画期間	令和4年度～令和6年度		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化	
事業の概要	精神文化をはじめとする本県ならではの強みや本県の特徴ある地域資源を活かして、国内外の消費者を引きつける魅力ある地域づくりを推進し、何度も本県を訪れてもらうことで地域経済の好循環を生み出し、地域の活性化を促す。また、本県が誇る環境や文化など、地域の多様な資産を保全・活用・継承していく取組みや、郷土愛の醸成と地域に活力を生み地域を支える次代の人材育成等の取組みを通して、地元が主体性をもった持続可能な地域づくりを推進する。		
令和6年度 事業費(千円)	45,851	(うち交付金充当額)22,925	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
蔵王を取り巻く地域(山形市、上山市、天童市)の観光消費額単価	目標値 (円)	－	3,993	3,993	3,994	11,980	達成
	実績値 (円)	29,960	13,966	20,177	3,485	37,628	
県内主要温泉観光地の観光者数	目標値 (千人)	－	1,683.0	1,683.0	1,684.0	5,050.0	—
	実績値 (千人)	5,850.1	1,284.3	537.8	統計値 未発表	統計値 未発表	
やまがた景観物語「おすすめビューポイント」来訪者数	目標値 (千人)	－	10.0	10.0	10.0	30.0	達成
	実績値 (千人)	44.0	8.0	20.0	15.0	43.0	
地域の伝統・文化行事等に参加している児童生徒(小学生)の割合	目標値 (%)	－	1.4	1.4	1.5	4.3	—
	実績値 (%)	85.7	△ 14.1	4.0	統計値 未発表	統計値 未発表	

3 今後の方針等

地域の関係者や関係組織と連携し、誘客に向けたプロモーションやコンテンツの造成・拡充等に取り組むとともに、イベントの開催、地域の文化芸術団体の発表の場の創出等を通して、環境資産や文化資産、地域文化の普及啓発や次代の人材育成等に取り組みながら、持続可能な観光地域づくりを推進していく。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	観光地域への誘客の促進や、本県の多様な資産の普及啓発に取り組むことにより、地域の活性化や、地元が主体性をもった持続可能な地域形成につながることを期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)
活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	人材・産業・地域のグローバル化推進事業	
事業計画期間	令和4年度～令和6年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み
事業の概要	地域社会や産業経済の活力の維持向上のために必要不可欠な人材となりうる外国人留学生の受入拡大・県内定着促進や、県内企業における外国人材の受入促進、若者や企業の経営者等が国内外と新たに交流する機会の創出等の取組みを通じて、人材・産業・地域のグローバル化を推進し、外国人材を呼び込み、若い世代が定着し活躍することができる山形県の実現を目指す。	
令和6年度 事業費(千円)	26,998	(うち交付金充当額)13,498

2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通じて増加した外国人 留学生のうち卒業生の県内就職 率	目標値 (%)	-	3.89	5.00	8.00	16.89	更なる 取組み が必要
	実績値 (%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
本事業を通じて増加した外国人 留学生の県内受入数	目標値 (人)	-	35	37	41	113	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	0	0 (コロナ)	41	0	41	
本事業を通じて増加した海外取 引を行う県内企業の数	目標値 (社)	-	18	19	19	56	—
	実績値 (社)	0	13	4	統計値 未発表	統計値 未発表	
サミット参加者数	目標値 (人)	-	120	120	120	360	概ね 順調
	実績値 (人)	0	138	67	130	335	

3 今後の方針等

留学先として山形県が選ばれるために、引き続きコンソーシアムにより留学生を手厚くサポートするとともに、県内就職率の増加のためマッチングを強化する。また、外国人材が山形に定着するように、外国人の資格取得への補助金を創設するとともに、外国人受入れの取組みの紹介等による受入れ先となる事業者への支援を継続して実施していく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	国際的な議論・交流の推進や留学生の定着支援、企業の国際化促進を行うことにより、人材・産業・地域のグローバル化につながることを期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	地域づくりの新たな担い手となる関係人口創出・拡大プロジェクト	
事業計画期間	令和6年度～令和8年度	
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	①次代を担い地域を支える人材の育成・確保 ②県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり ③未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用
	政策	①国内外の様々な人材の呼び込み ②多様な力の結集による地域コミュニティの維持・活性化 ③地域の特性を活かし暮らしを支える活力ある圏域の形成
事業の概要	地域等と都市部企業等との協働事業への支援等を通して、関係人口など、地域内外を問わない多様な主体を新たな地域の担い手として確保する仕組みを構築するとともに、関係人口を受け入れる地域の体制の強化を図り、関係人口等の創出・拡大を目指す。	
令和6年度 事業費(千円)	74,100	(うち交付金充当額)37,050

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
山形県へのUIJターン者数(県移 住相談窓口を通じて移住した人 数)	目標値 (人)	－	16	18	18	16	達成
	実績値 (人)	268	65	－	－	65	
事業により創出した関係人口数	目標値 (人)	－	131	204	252	131	達成
	実績値 (人)	0	152	－	－	152	
事業により創出した交流人口数	目標値 (人)	－	7,178	7,671	8,148	7,178	達成
	実績値 (人)	0	7,766	－	－	7,766	
事業により関係人口を受け入れ る体制が整った地域・団体等数	目標値 (地域・団体等)	－	72	85	87	72	達成
	実績値 (地域・団体等)	0	125	－	－	125	

3 今後の方針等

関係人口等の創出・拡大を図るため、県外企業と地域のマッチングを支援するとともに、マッチング後のフォローアップを適切に行っていく。また、地域の新たな担い手の受入体制を強化するため、地域運営組織の形成や運営への支援を行うとともに、事例等の情報の横展開を図っていく。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	県外企業と地域のマッチングや担い手の受入体制の強化等に取り組むことにより、地域づくりの新たな担い手となる関係人口の創出・拡大につながる事が期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	イノベーション・DXの推進とブランド力の強化による地域産業の競争力強化事業		
事業計画期間	令和6年度～令和8年度		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出	
事業の概要	ものづくり産業における創業・事業化支援によるイノベーションの創出、県内企業の競争力強化に向けたDX推進、新たなデジタル技術を核とした人材育成・ビジネス創出及び県産品のブランド力を強化する取組みを通して、県内産業における生産性向上や高付加価値化を推進する。		
令和6年度 事業費(千円)	137,588	(うち交付金充当額)68,260	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
山形県における新規雇用者数	目標値 (人)	－	15	30	45	15	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	0	7	－	－	7	
一人当たりの県民所得	目標値 (千円)	－	80	120	150	80	—
	実績値 (千円)	2,850	統計値 未発表	－	－	統計値 未発表	
本事業を通して新たにDX認定事 業者に認定された県内企業数	目標値 (社)	－	4	4	4	4	達成
	実績値 (社)	0	5	－	－	5	
物産展開催会場総数	目標値 (件)	－	1	1	1	1	達成
	実績値 (件)	4	3	－	－	3	

3 今後の方針等

創業を目指す者に対する支援、県内企業に対するDXへの働き掛けやデジタル人材の育成の取組み、山形県ブランドへの好感・共感の醸成に向けた取組み等を進めることで、県内産業における生産性向上や高付加価値化を目指していく。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	創業を目指す者への支援や専門性の高い人材の育成、山形県ブランドへの好感・共感の醸成等に取り組むことにより、生産性の向上とともに、高付加価値を生み出すものづくり産業の形成につながることが期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	プロフェッショナル人材の活用による中小企業成長実現事業		
事業計画期間	令和5年度～令和9年度		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出	
事業の概要	デジタル化などの時代の流れに対応しながら新たな市場を開拓し、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を生み出だせるよう、地域企業の企業力を高めるプロフェッショナル人材のマッチング支援を行い、本県への労働人口の還流を促進しながら、地域経済の維持を図る。		
令和6年度 事業費(千円)	34,646	(うち交付金充当額) 18,853	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
地域企業に対するプロフェッショナル人材マッチング件数	目標値 (件)	－	70	70	70	70	70	140	達成
	実績値 (件)	67	81	82	－	－	－	163	
地域企業の経営課題に関する相談件数	目標値 (件)	－	225	225	225	225	225	450	達成
	実績値 (件)	210	237	235	－	－	－	472	
マッチング件数のうちデジタル化推進に資する件数	目標値 (件)	－	7	7	7	7	7	14	達成
	実績値 (件)	2	15	11	－	－	－	26	

3 今後の方針等

民間ビジネス事業者や金融機関等との連携を強化し、優れた人材の県内へのUJJターン及び県内企業における副業・兼業人材の活用等を促進するとともに、よりきめ細かに副業・兼業人材の活用ニーズを掘り起こし、人材のマッチングを支援していく。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	専門的知識や高度な技術を持つプロフェッショナル人材の本県への還流が促進されることにより、中小企業の成長を促し、県内経済の活性化に寄与することが期待される。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)
活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	山形県移住支援事業・マッチング支援事業・地方就職学生支援事業、山形県地域課題解決型創業支援事業		
事業計画期間	令和5年度～令和9年度		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保	
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み	
事業の概要	東京圏からの移住並びに本県産業への就業及び起業を後押しするための移住支援金を支給する移住支援事業、本県産業と就業者のマッチングを支援するための求人情報を提供するマッチング支援事業、東京圏の学生の本県への移住・就職を促進するための支援金を支給する学生支援事業を実施する。併せて、地域の社会的課題の解決を目指す担い手を確保するため、社会的事業分野における起業家に対して起業支援金を支給する起業支援事業を実施する。		
令和6年度 事業費(千円)	83,035	(うち交付金充当額)41,517	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
本移住支援事業に基づく移住者 数	目標値 (人)	-	80	262	247	267	282	342	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	50	100	116	-	-	-	216	
本起業支援事業に基づく起業家 数	目標値 (人)	-	4	4	4	4	4	8	更なる 取組み が必要
	実績値 (人)	0	0	0	-	-	-	0	
マッチングサイトに新たに掲載さ れた求人数	目標値 (件)	-	210	220	230	240	250	430	更なる 取組み が必要
	実績値 (件)	201	138	169	-	-	-	307	
本移住支援事業に基づく18歳未 満の世帯員を帯同して移住した 世帯数	目標値 (世帯)	-	20	20	25	30	35	40	概ね 順調
	実績値 (世帯)	10	17	22	-	-	-	39	

3 今後の方針等

移住促進に向けた支援策の拡充と本支援策のPRを強化するとともに、要件の定義の見直しを市町村に働きかけるほか、本県産業と就業者のマッチングサイトに掲載される求人について、幅広い業種・職種が登録されるよう、商工団体等と連携してPRする。また、創業に対する助成金事業を継続し、地域社会が抱える課題の解決を目指す担い手の確保を図る。加えて、首都圏から県内企業へ就職した学生に対して移住に係る費用を助成し、学生の県内定着・回帰を図る。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	事業の実施を通して、東京圏からの移住や本県への就業促進、地域の課題解決に資する新たな事業の創出が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	女性・高齢者・障がい者向け新規就業・デジタル就業支援事業		
事業計画期間	令和5年度～令和9年度		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり	
	政策	県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備	
事業の概要	官民連携のプラットフォームを形成し、各種助成金や各種相談窓口などの既存の仕組みも活用しながら、デジタル技術の活用促進も図りつつ、女性、高齢者の新規就業者の掘り起し、女性、高齢者、障がい者の受入れ企業における職場環境の改善、マッチング、伴走支援までを一体的に実施する。		
令和6年度 事業費(千円)	61,738	(うち交付金充当額) 30,869	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業により新規就業が実現した者の数(新規就業者数)	目標値 (人)	－	400	400	450	450	450	800	達成
	実績値 (人)	0	926	1,028	－	－	－	1,954	
デジタル技術の習得や仕事への活用促進の支援に関する取組みにより、デジタル技術を仕事に活用している者の数(デジタル活 用者数)	目標値 (人)	－	30	30	45	45	45	60	達成
	実績値 (人)	0	154	173	－	－	－	327	

3 今後の方針等

新規就業者の増加に向けて、企業開拓及び職場環境の整備・改善を促すとともに、キャリアカウンセリングやセミナー等を通して、高齢者及び障がい者の新規就業や女性の再就職を促す支援を行う。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	女性・高齢者・障がい者の雇用拡大につながっており、産業振興のための潜在的な担い手の確保が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用した農林業のデジタル実装研究・研修拠点整備計画(第1次事業)		
事業計画期間	令和4年4月～令和5年3月		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成	
事業の概要	近年の気候変動にともなう霜害や高温障害に対応するため、屋外気象モニタリング装置等を備えた施設を整備し、ICTやGIS機能を駆使したデジタル技術等の開発に取り組み、省力化や高品質安定多収栽培技術を開発することで、収量・品質の安定化と所得の向上、産地の活性化に寄与する。		
事業費(千円)	(地方創生拠点整備交付金分) 46,709		(うち交付金充当額) 22,055
	(地方創生推進交付金(ソフト)分) 7,528		(うち交付金充当額) 3,764

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって向上した技術により増加した産出額(さくらんぼ)	目標値 (百万円)	—	0.00	200.00	200.00	200.00	200.00	400.00	—
	実績値 (百万円)	35,100.00	0.00	2,700.00	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	
施設整備によって向上した技術により増加した農業者一人当たりの産出額	目標値 (万円)	—	0.00	15.00	15.00	15.00	15.00	30.00	—
	実績値 (万円)	639.00	0.00	94.00	統計値 未発表	—	—	統計値 未発表	

3 今後の方針等

当該施設を拠点として、新しい通信規格(LPWA)を活用した調査研究を進めるとともに、霜害のみならず、高温障害についても現場での実態調査や技術実証を行う。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効な施設を整備した。
意見等	同施設の活用により、果樹分野における収量・品質の安定化が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート農業研究・研修拠点整備計画		
事業計画期間	令和5年4月～令和6年3月		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成	
事業の概要	リモートセンシングや生育環境モニタリング装置等を備えた施設を整備し、ICT技術による生育診断及び高品質で多収に繋がる環境モニタリング方法をテーマとする研究・研修に取り組み、生産現場への技術普及を図ることで、生産性の向上に貢献し、収入の確保等に寄与する。		
事業費(千円)	53,042	(うち交付金充当額)26,271	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって向上した技術により増加した産出額(米)	目標値 (億円)	—	0.00	8.00	8.00	8.00	9.00	8.00	—
	実績値 (億円)	835.00	0	統計値 未発表	—	—	—	統計値 未発表	
施設整備によって向上した技術により増加した産出額(野菜)	目標値 (億円)	—	0.00	3.00	3.00	3.00	4.00	3.00	—
	実績値 (億円)	472.00	0	統計値 未発表	—	—	—	統計値 未発表	
研修会等でテーマとした技術のうち、試行的に現場導入した数	目標値 (件)	—	0	0	2	3	3	0	—
	実績値 (件)	0	0	0	—	—	—	0	

3 今後の方針等

整備した施設等を用い、デジタル技術を活用したスマート農業の技術開発とともに、生産者等への研修を行う。また、当該施設等で取り組んだスマート農業技術の現地実証を行う。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効な施設を整備した。
意見等	同施設の活用により、稲作、野菜、花きにおける品質向上・収量の増加が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート畜産研究・研修拠点整備計画		
事業計画期間	令和5年4月～令和6年3月		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成	
事業の概要	牛群管理システムや分娩監視装置等の様々なデジタル機器を備えた施設を整備し、デジタル技術の実証、展示、研修・普及等に取り組み、生産現場への技術普及を図ることで、生産性の向上に貢献し、収入水準の確保等に寄与する。		
事業費(千円)	248,630	(うち交付金充当額)124,065	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって開 発した技術により増 加した産出額(畜産)	目標値 (億円)	—	0.00	15.00	15.00	16.00	16.00	15.00	—
	実績値 (億円)	361.00	0	統計値 未発表	—	—	—	統計値 未発表	
施設整備によって開 発した技術により増 加した農業者一人当 たりの肉用牛産出額	目標値 (万円)	—	0.00	99.00	99.00	99.00	99.00	99.00	—
	実績値 (万円)	1,619.00	0	統計値 未発表	—	—	—	統計値 未発表	
研修会等でテーマとし た技術のうち、試行的 に現場導入した数	目標値 (件)	—	0	0	1	1	1	0	—
	実績値 (件)	0	0	0	—	—	—	0	

3 今後の方針等

整備した施設等を用い、デジタル技術を活用したスマート畜産の技術開発を行う。

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効な施設を整備した。
意見等	同施設の活用により、畜産分野における品質向上や飼養管理の省力化が期待できる。

デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生拠点整備タイプ) 活用事業に対する評価(案)

1 事業概要

交付対象事業 の名称	東北農林専門職大学(仮称)を活用したスマート森林業研究・研修拠点整備計画		
事業計画期間	令和5年4月～令和6年3月		
総合戦略における 位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成	
事業の概要	リモートセンシングや森林資源情報の収集・解析に必要な設備・施設を整備し、森林資源情報の高精度化や情報収集・解析作業の効率化を進める実用的手法確立の研究、研修に取り組み、現場に普及することで、経営基盤強化や生産性向上に貢献し、収入水準の確保等に寄与する。		
事業費(千円)	177,976	(うち交付金充当額)88,738	

2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業 開始前	R5 増加分	R6 増加分	R7 増加分	R8 増加分	R9 増加分	評価対象年度 (R6)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって確 立された手法により 増加した県産木材供 給量	目標値 (m ³)	—	0.00	4.00	4.00	4.00	4.50	4.00	—
	実績値 (m ³)	53.50	0	統計値 未発表	—	—	—	統計値 未発表	
施設整備によって確 立された手法により 増加した林業産出額	目標値 (億円)	—	0.00	3.00	3.00	3.00	4.00	3.00	—
	実績値 (億円)	82.00	0	統計値 未発表	—	—	—	統計値 未発表	
研修会等でテーマとし た技術のうち、試行的 に現場導入した数	目標値 (件)	—	0	0	1	2	2	0	—
	実績値 (件)	0	0	0	—	—	—	0	

3 今後の方針等

整備した施設等を用い、デジタル技術を活用したスマート森林業の技術開発を行う。
--

4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効な施設を整備した。
意見等	同施設の活用により、森林業分野におけ経営基盤強化や生産性向上が期待できる。